

教育目的

教育基本法に則り、学校教育法並びに調理師法及び製菓衛生師法に従い、「調理師に必要な科学的知識と調理技術」をはじめ保健衛生、食品等の専門分野の深い知識と共に「教養の向上と人格の陶冶」をはかり「プロとして通用する優秀な調理師」を養成することを目的とする。

教育目標

東海調理製菓専門学校は、建学の精神や教育理念に基づき、業界が求める即戦力となる調理師・製菓技術者の育成を目的としています。

昭和52年の創設以来、数多くのプロフェッショナルを輩出し、業界から高い評価を得ています。その背景には実践主義を重視した実習授業で培った高い技術と、人間教育も重要に考える本校の教育成果があると考えています。

人間の持つ可能性は無限大であり、その可能性を最大限に伸ばし、憧れの職業へ導くことが本校の使命と考えています。「最新の施設・設備」「優れた教師陣」「実践重視のカリキュラム」など全てにおいて充実を図り、厳しさの中にも優しさのある教育で、豊かな人間性を備えた一流の調理師・製菓技術者の育成を教育目標とします。

3つのポリシー

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針・本校が求める学生像）

- 心身ともに健康で、素直な心で他者と接することができる方
- 自ら学び、考え、主体的に行動し、愛情を持って人と接することができる方
- 調理・製菓の業界でどう活躍したいのかの目標を持っている方
- 人より優れた技術と知識を習得するために、研究と努力を惜しまない方
- 目標達成のために、チャレンジし続ける姿勢、意欲のある方

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- 建学の精神に則り、教育理念である「プロを目指すなら一流をめざせ」を具現化する体系的な教育課程を編成する。
- 課程の教育上の目的を達成するために、養成施設で規定されている「規定科目」と本校独自科目の「専門科目」を開設し、体系的に編成する。
- 調理または製菓における基礎的な知識・理論・技術の修得および資格取得につながる教育課程を編成する。
- 飲食業界にふさわしいマナーやコミュニケーション能力と、職業人として求められる豊かな人間性を育むカリキュラムを編成する。
- 実習・演習・研修を通じての知識および技術の習得を充実させ、即戦力として活用できる実践力、応用力を修得する教育課程を編成する。

ディプロマ・ポリシー（称号授与の方針、卒業時に必ず身につける能力）

本校では以下のような能力を身につけ、かつ所定の課程を修了した学生に、卒業が認定され、調理技術科及び製菓技術科の卒業認定をうけたものには専門士（衛生専門課程）の称号が授与される。

- 建学の精神に基づき、知識技術の研鑽に励み、自らの職業を通して社会に貢献できる資質を身につけている。

- 専門分野の職業人として必要な挨拶・返事・礼儀・身だしなみ及び社会人基礎力を有している。
- 衛生管理および調理・製菓製パンに関する知識と基礎技術を備え、安心・安全な料理および商品を提供する能力を身につけている。
- 調理・製菓製パンに関する専門的な知識と技術を備え、即戦力として活用できる実践力、応用力を有している。

学修成果の把握に関する方針

アセスメント・ポリシー（学修成果の評価の方針）

本校では、学修成果の評価に関する方針を、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに対応した評価の方針・指標（アセスメント・ポリシー）を定め、学生の学修成果の測定・評価をする。

学修成果の測定・評価は、機関レベル（学校）、教育課程レベル（学科および専攻）、授業科目レベル（各科目）の3段階において多面的に実施し、アセスメントを行う。

1. 機関（学校）レベル

建学の精神に基づき、ディプロマ・ポリシーを備えた人材育成について、学生の卒業時での学修成果の達成状況（資格取得、専門職への就職率など）から検証する。検証結果は、本学の現状把握、全学的な教育改革・改善、学生・学修支援の改善などに活用する。

2. 教育課程（学科および専攻）レベル

学科・専攻におけるGPA、成績評価、単位修得状況、資格取得状況、休学・退学・留年状況、学生授業評価アンケートなどから教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を検証する。検証結果は3つのポリシーに対応づけて行い、教育課程の検証および改革・改善、学生・学修支援の改善に活用する。

3. 授業科目（各科目）レベル

シラバスに提示された授業科目の到達目標に対する成績評価および学生授業評価アンケートの自己評価などの結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を検証する。なお、成績評価は次の基準に基づき判定する。

A：80点～100点、 B：70点～79点、 C：60点～69点、

（評価の指標）

	入学時・入学直後	在学中（単位認定）	卒業時・卒業後
	アドミッション・ポリシーを満たす人材かどうかの検証	カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているかどうかの検証	ディプロマ・ポリシーを満たす人材になったかどうかの検証
機関レベル （学校） の指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種入学試験 <ul style="list-style-type: none"> ・面接、志望理由書など ・調査書などの記載内容 ◆入学前レポート課題 ◆入学生アンケート ◆学科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーの理解（入学後オリエンテーション、新入生研修） ◆キャリアデザイン （目標設定：新入生研修） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆GPA 得点 ◆成績評価 ◆単位修得状況 ◆休学、退学、留年状況 ◆学生授業評価アンケート ◆就職個別面談 ◆課外活動状況（ゼミ、部活動加入状況） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆卒業者数 ◆資格取得数（率） ◆就職率（専門職比率） ◆卒業時アンケート ◆学生への外部からの評価（表彰など） ◆卒業生へのアンケート調査 ◆採用ご担当者向けアンケート